

病 院 概 況



令和6年10月
茨城県立こころの医療センター

茨城県笠間市旭町 654
電話 0296 (77) 1151

茨城県の精神科医療の状況と当院の役割

(「第8次茨城県保健医療計画」より)

精神疾患は、その患者数が急増しており、令和2(2020)年には全国で614万人を超える水準となっています。国の調査結果では、国民の4人に1人(25%)が生涯でうつ病等の気分障害、不安障害及び物質関連障害のいずれかを経験していることが明らかとなっており、誰もが罹患する可能性のある病気です。本県における精神疾患の入院患者数は5,514人(令和4(2022)年6月末現在)で、通院患者数は49,485人(令和5(2023)年3月末現在)となっています。入院患者数は減少傾向ですが、通院患者数は年々増加しています。通院患者数の疾病別の内訳では、うつ病等の気分障害が18,398人(37.2%)で最も多く、次いで統合失調症が13,853人(28.0%)となっていますが、特に、うつ病等の気分障害は急増しており、また、高齢化に伴い認知症も増加しています。また、全国の自殺者数は平成10(1988)年以降3万人前後で推移していましたが、平成22(2020)年以降は減少を続け、令和元(2019)年は19,425人となりました。しかし、令和2(2020)年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で、11年ぶりに増加に転じました。日本の自殺死亡率は主要国の中で高い水準にあり、依然として厳しい状況にあります。本県における自殺死亡率(人口10万対)は、年々減少傾向にありましたが、全国と同様に令和2(2020)年に増加に転じ、令和4(2022)年は18.1となっており、全国平均の17.4よりも高い水準で推移しています。

県立こころの医療センターは、県内精神科医療の基幹病院として、次の医療等を提供しています。

- ・ 統合失調症などの精神疾患に関する診断治療のほか、精神科救急医療や児童・思春期精神疾患、発達障害、薬物・アルコール依存症、医療観察法対象患者に対する精神科専門医療を提供するとともに、睡眠障害の診断治療を行っています。
- ・ 重度の症状を呈する精神科急性期患者等に対応するため、医師・看護師等を常時配置する常時対応型精神科救急医療施設としての役割を果たしています。
- ・ 患者の症状や病態に応じた適切な医療を提供するためには、医療機関同士が相互に連携協力することが重要であることから、関係機関とのネットワークづくりを推進しています。
- ・ 在宅の精神障害者を支援するため、医師や看護師、精神保健福祉士等が積極的に地域に出向き、往診や訪問看護、市町村における会議や訪問活動への参加など、アウトリーチ活動を実施しています。
- ・ 新興感染症感染拡大等に対応するため、平時から、陰圧病床ユニットとして稼働できる体制維持に努めています。

目 次

I	病院の沿革	4
II	組織	6
III	職種別職員現員調	7
IV	概 況	8
i	こころの医療センター	8
1	敷地・建物	8
(1)	敷地面積	8
(2)	建物面積	8
2	診療科目	8
3	病床数	9
4	施設基準等	9
5	患者の状況	10
(1)	外来患者	10
(2)	入院患者	11
(3)	病棟別病床利用の状況	12
(4)	在院患者の疾病区分	13
(5)	在院患者の年齢構成	13
(6)	在院患者の費用区分	13
(7)	在院患者の在院期間	14
(8)	在院患者の入院形態別	14
(9)	新規入院患者の入院形態	14
(10)	病棟別新規入院患者の入院形態別患者数（令和5年度）	15
(11)	退院患者の在院期間	15
(12)	退院患者の転帰別状況	15
(13)	診療圏	16
6	専門医療	17
(1)	精神科救急医療	17
(2)	薬物等中毒性精神障害治療	17
(3)	児童・思春期精神科医療	18
①	外来診療 当院における初診患者数と20歳未満の初診患者数の年度別推移	18
②	20歳未満の初診患者の年齢構成	18
③	児童・思春期外来の初診患者数と延べ患者数の年度別推移	18
④	入院患者の動向（児童・思春期専門病棟の入院患者の年度別推移）	19
(4)	医療観察法に基づく入院及び指定通院患者数	19
7	各部門の実施状況	20
(1)	リハビリテーション部	20
①	デイケア	20
②	作業療法	21
③	理学療法	23
(2)	総合診療部	24
①	心理室	24
②	栄養科	25
③	薬剤科	25
④	研究検査科	26
(3)	福祉連携サービス部	27
①	医療福祉相談室	27
②	地域医療連携室	27
(4)	訪問看護	30
V	決算の状況	31
1	損益計算書（税抜き）	31
2	貸借対照表（税抜き）	31
3	財務分析	32

4	経営分析	33
VI	令和6年度予算	34
1	収益の収入及び支出	34
2	資本の収入及び支出	34

I 病院の沿革

当院は、東茨城郡下中妻村（現在の水戸市（旧内原町））にあった全国農業会内原病院を買収し、県内唯一の県立精神病院として、精神衛生法が制定された昭和25年5月に茨城県立内原精神病院として開設された。

しかし、開院後まもなく病床の不足をきたしたため、施設の拡充整備を重ね、医療需要に対応してきたが、更なる病床不足、敷地の狭隘、施設の老朽化等のため、昭和30年に病院の再建計画が始まり、昭和35年8月、現在地に茨城県立友部病院として開設された。

当院は開設当初から、患者の社会復帰の促進を念頭においた思い切った病棟開放性の導入など、積極的な開放治療を展開し、一般科病院との格差是正を試み、全国から「東洋一」として注目を浴びた。

その後も、本県における精神科病院の基幹病院として治療困難な患者の受け入れを行うとともに、生活療法、作業療法、レクリエーション療法及び精神科デイケアを積極的に推進するなど、精神障害者の社会復帰に成果を上げてきた。

また、精神科医療の臨床実習・研修病院として県内の看護専門学院（校）、筑波大学、茨城大学等の実習学生等を受け入れ、実地指導を行うとともに、臨床研修医の研修病院として専門医の養成と教育の場としても貢献している。

平成8年4月からは、訪問看護に2名の専任の専門職員を配置し、社会生活支援活動を実施し、平成16年4月には、患者の社会復帰を促進するとともに、地域における精神障害者の支援等、総合的な地域精神保健対策を進めるため、新たに社会復帰支援室を設け、患者の社会復帰促進事業にも力をいれている。

また、長期入院患者（社会的入院患者）の社会復帰を促進した結果、病棟間において医療・看護サービスに格差が生じたため、平成8年7月に、12病棟を11病棟に統合した。

さらに平成11年4月には10病棟へ、平成16年4月には9病棟、平成18年4月には、8病棟、平成19年4月には、7病棟と統廃合を行った。

一方、平成14年7月には新たに児童・思春期専門病棟32床を開設するなど、効率の良い運用と管理体制の整備による再編成を推進している。

また、開設以来実施されてきた性別看護にかえて、男性及び女性看護師による混合看護を平成8年度より1ヶ病棟において開始し、現在は全病棟で実施している。

これら病棟の再編成等を進めるとともに、精神障害のために自傷・他害のおそれがあり、かつ緊急に医療及び保護が必要と認められる精神障害者に対し、精神保健福祉法第24条の規定に基づく警察官通報に限定した休日（昼間）の救急業務を平成8年10月に開始、更に平成16年3月には平日夜間（21時まで受付）に拡大、平成19年4月には24時間365日の受け入れを開始した。

また、平成17年度からは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）」の規定に基づく鑑定入院及び指定通院医療の受け入れを開始、平成20年8月からは、3-1病棟において精神科救急入院料いわゆるスーパー救急の算定を開始するなど更なる手厚い看護の実施と政策医療にも積極的に取り組んでいる。

平成18年度からは、病院運営の効率化や経営の健全化を図ることを目的として地方公営企業法の全部適用による運営を行っている。

病院建築後49年が経過し、施設・設備の老朽化・狭隘化により、入院・外来患者に対する望ましい医療サービスの提供や県民の多様化する精神科医療のニーズに十分対応することが困難な状況となっており、県立友部病院の運営とあり方に検討が進められ、平成19年5月に報告書が示された。この報告書の提言を踏まえ、平成19年9月、県民の求める安心・安全な、質の高い精神科医療の実現のため、『新生友部病院』開院を目指し、平成21年8月に工事に着手した。

平成23年4月に「茨城県立こころの医療センター」と名称を変更。10月1日に新病院で診療開始。

平成27年4月に院内に睡眠障害の検査・治療及び臨床研究を行う「茨城県睡眠医療センター」を開設し、さらに、平成29年1月には、水戸市内に当院の附属医療機関として「県立睡眠医療クリニック」を開設。令和2年3月より新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止対策として、入院患者の外泊等及び家族等による面会の制限、他機関との連携の制限、外来診療における電話診療等に取り組んでいる。

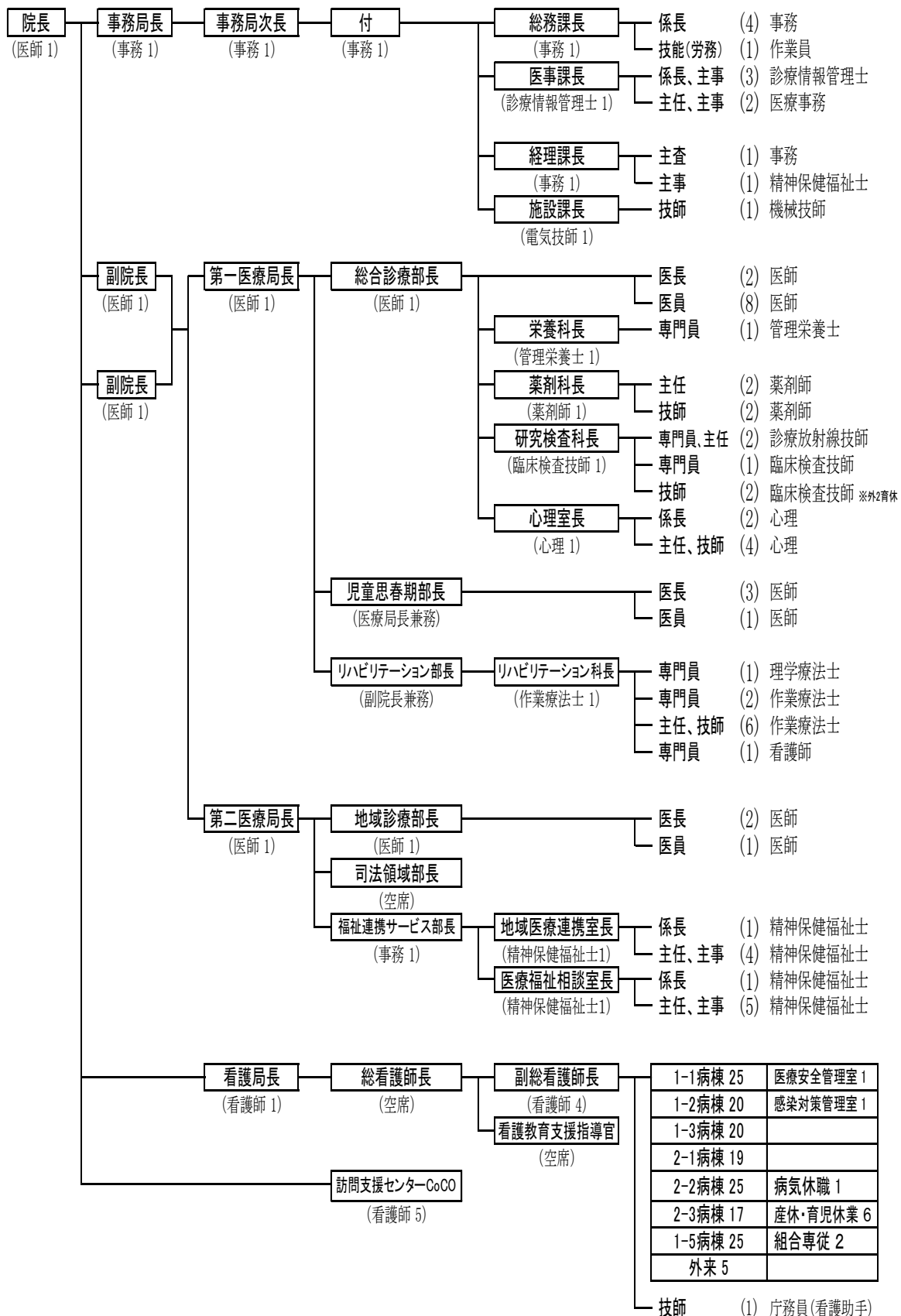
令和3年10月に「県立睡眠医療クリニック」は県としての一定の役割を果たしたことから閉院し、本院のみの診療とした。

病院開設以来の主な歩み

昭和25年 5月	茨城県立内原精神病院開設（病床数113床）
昭和32年10月	茨城県立内原病院と改称
昭和35年 6月	茨城県立友部病院設置・内原病院を友部病院内原分院に改組
昭和35年 8月	茨城県立友部病院開設（病床数180床）
昭和39年10月	茨城県立友部病院内原分院廃止
昭和42年 4月	日本精神神経学会より「呉秀三賞」受賞
昭和45年 9月	Ⅱ類基準看護承認（48年9月Ⅰ類に変更，53年1月特Ⅰ類に変更）
昭和50年12月	精神障害者社会復帰施設「デイケアセンター」竣工
昭和51年12月	（病床数611床）となる
昭和55年 7月	厚生省認可「精神科デイケア施設」として開所
昭和61年 3月	レクリエーションセンター竣工
昭和61年 8月	精神科作業療法の施設基準の承認
平成 元年10月	応急入院指定病院に指定
平成 5年 7月	「茨城県立友部病院将来構想」策定
平成 6年 3月	「茨城県立友部病院改築整備基本計画」策定
平成 6年 4月	プロジェクトチーム「社会生活支援室」を設置
平成 8年 7月	2病棟統合，1病棟を休棟・男女混合勤務（看護）を実施
平成 8年10月	精神科救急の実施（精神保健福祉法第24条適用）
平成10年 5月	2病棟で男女混合勤務を実施
平成11年 4月	2病棟統合，1病棟を休棟
平成12年 4月	適時適温給食を実施
平成12年10月	茨城県立友部病院開設50周年記念式典
平成14年 7月	児童・思春期専門病棟（つくし）開設（病床数589床）となる
平成16年 2月	（病床数586床）となる
平成16年 3月	精神科救急を平日夜間（9時まで受付）まで拡大
平成16年 4月	2病棟統合，1病棟を休棟 「社会復帰支援室」を設置
平成17年 3月	（病床数583床）となる
平成18年 3月	（病床数576床）となる
平成18年 4月	1病棟を休棟，（病床数573床）となる
	地方公営企業法の全部適用に伴い，保健福祉部から病院局の所管となる
平成19年 4月	1病棟を休棟，（病床数558床）となる
	精神保健福祉法第24条に基づく患者について，24時間365日受入れを開始
平成20年 2月	「県立友部病院整備基本計画」策定
平成20年 4月	（病床数547床）となる
平成20年 8月	精神科救急入院料算定開始
平成21年 5月	（病床数541床）となる
平成23年 4月	茨城県立こころの医療センターと改称
平成23年10月	新病院で診療を開始，（病床数537床）となる
	医療観察法病棟開棟・指定入院医療機関として処遇開始
平成24年 4月	東京建築賞「最優秀賞」受賞
平成25年 8月	全国自治体病院協議会精神科特別部会 第51回総会・研修会開催
平成26年 4月	医療福祉建築賞受賞
平成27年 4月	院内に「茨城県睡眠医療センター」を開設
平成27年12月	（病床数535床）となる
平成29年 1月	「県立睡眠医療クリニック」を水戸市内に開設
平成29年11月	（病床数525床）となる
令和 3年10月	「県立睡眠医療クリニック」を閉院

II 組織

令和 6 年 4 月 1 日現在



Ⅲ 職種別職員現員調

令和6年4月1日現在

職群		事務職				技術職										技能労務職				合計	臨時的任用職員				会計年度任用職員														育休補助職員				駐在							
区分	職種	一般事務・医療事務	診療情報管理士	心理判定員	精神保健福祉士	小計	機械	電気	医師	薬剤師	管理栄養士	理学療法士	作業療法士	保健師	看護師	診療放射線技師	臨床検査技師	小計	営繕員		作業員	庁務員（看護助手）	小計	合計	精神保健福祉士	臨床検査技師 看護師	合計	医師（研修医以外）	医師（研修医） 管理栄養士	公認心理師	精神保健福祉士	事務	看護助手（庁務員等）	自殺予防・特電交付金 看護師	看護師	地域ケア推進アドバイザー	合計	精神保健福祉士	臨床検査技師 看護師	合計	看護師	合計	看護師	合計						
(1)配置定数		14	2	7	15	38	1	1	26	5	2	1	9	0	178	2	6	231	0	1	0	1	270																											
(2)在籍職員数 (○数字は再任用短時間職員)		13	4	7	15	39	1	1	24	5	2	1	9	0	178	2	6	229	0	1	1	2	270	0		0	0	11	4	0	1	2	8	11	2	7	1	47	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0		
(3) 定数外 職員数	退職					0									9		1	10				0	10				0									0			0		0	0	0	0	0	0				
	派遣				1	1												0				0	1				0									0			0		0	0	0	0	0					
	長期療休					0												0				0	0				0									0			0		0	0	0	0	0					
(4)差引現員(2)－(3) (○数字は再任用短時間職員)		13	4	7	14	38	1	1	24	5	2	1	9	0	169	2	5	219	0	1	1	2	259	0	0	0	0	11	4	0	1	2	8	11	2	7	1	47	0	1	1	2	0	0	0	0	0			
正職員																																													0	0	0	0		
	男	10	3	2	6	21	1	1	15	4			4		93	1	2	121			1	1	143			0	9	3						1		13				0		0	0	0	0	0	0			
	女	3	1	5	9	18			9	1	2	1	5		85		4	107				0	125			0	2	1	1	1	2	8	10	2	7	1	35		1	1	2		0	0	0	0				
再任用(フルタイム)																																													0	0	0	0		
	男					0										1		1		1		2				0										0			0		0	0	0	0	0	0				
	女					0												0				0				0										0			0		0	0	0	0	0	0				
再任用(短時間勤務)																																																		
	男														2		2						2																											
	女														2		2						2																											
過不足(4)－(1)		△1	2	0	△1	0	0	0	△2	0	0	0	0	0	△9	0	△1	△12	0	0	1	1	△11																											

Ⅳ 概 況

i こころの医療センター

1 敷地・建物

(1) 敷地面積

病院敷地 128,683.96 m²

(2) 建物面積

建 物		建築面積 (m ²)	延 (m ²)
新病院	新病院本館	8,641.67	14,820.69
	思春期デイケア棟	207.00	175.89
	医療観察法病棟	1,889.23	1,851.76
	計	10,737.90	16,848.34
旧病院	農耕作業棟	198.70	198.70
	温室	68.04	68.04
	デイケア施設	1,298.44	1,298.44
	1 病棟	845.62	845.62
	2 病棟	1,082.34	1,082.34
	3 病棟	738.72	1,646.28
	5 病棟	777.60	1,724.04
	サービス棟	989.08	989.08
	第2 サービス棟	205.20	205.20
	倉庫 (布団庫)	58.32	58.32
	プロパンボンベ舎	12.66	12.66
	貯水槽ポンプ舎	7.08	7.08
	オイルギアポンプ舎	4.30	4.30
	ポンプ舎	3.21	3.21
	変電室	38.88	38.88
	裁縫作業所	26.50	26.50
	動物舎	41.16	41.16
	計	6,395.85	8,249.85

2 診療科目

精神科 児童精神科 心療内科 神経内科

3 病床数

令和6年4月1日現在 許可525床 運用276床

病棟名		定床数	運用病床数	性別	開閉別	摘 要
新 病 院	1－1	40(10)	40(10)	混合	閉鎖	救急医療
	1－2	45 (8)	45 (8)	混合	閉鎖	合併症・総合医療
	1－3	36 (4)	36 (4)	混合	閉鎖	児童思春期医療
	1－5	18 (1)	18 (1)	混合	閉鎖	医療観察法
	2－1	34 (13)	34 (13)	混合	閉鎖	急性期
	2－2	43 (10)	43 (10)	混合	閉鎖	救急医療
	2－3	60 (6)	60 (6)	混合	開放・閉鎖	社会復帰
	計	276(52)	276(52)			
旧 病 院	1	31 (2)	0 (0)			休 棟
	2	48 (2)	0 (0)			休 棟
	3－1	37 (9)	0 (0)			休 棟
	3－2	44 (0)	0 (0)			休 棟
	5－1	41 (0)	0 (0)			休 棟
	5－2	48 (2)	0 (0)			休 棟
	計	249(15)	0 (0)			
合計		525(67)	276(52)			

* 定床数、運用病床数のうち（ ）書きは保護室等強化した個室の数で内数である。

4 施設基準等（令和6年6月1日現在）

精神科救急急性期医療管理料(83床)
精神科急性期治療病棟入院料1（34床）
児童・思春期精神科入院医療管理料（36床）
精神病棟入院基本料15対1（105床）
医療観察法入院料（18床）
救急医療管理加算
臨床研修病院入院診療加算
診療録管理体制加算2
看護配置加算
看護補助加算1
療養環境加算
精神科応急入院施設管理加算
精神病棟入院時医学管理加算
精神科地域移行実施加算
精神科身体合併症管理加算
医療安全対策加算1
感染防止対策加算2
精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
精神科急性期医師配置加算1，2
摂食障害入院医療管理加算
データ提出加算
依存症入院医療管理加算
後発医薬品使用体制加算1

精神科退院時共同指導料
認知療法・認知行動療法Ⅰ
ニコチン依存症管理料
薬剤管理指導料
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料遠隔モニタリング加算
検体検査管理加算Ⅰ、Ⅱ
遠隔画像診断
MRI撮影（3.0テスラ以上）
CT撮影（16列以上）
児童思春期精神科専門管理加算
精神科作業療法
精神科ショート・ケア（大規模）
精神科デイ・ケア（大規模）
治療抵抗性統合失調症治療指導管理料
医療保護入院等診療料
こころの連携指導指導料Ⅱ
外来・在宅ベースアップ評価料
入院ベースアップ評価料
夜間休日救急搬送医学管理料
児童思春期支援指導加算
入院時食事療養費（Ⅰ）

5 患者の状況

(1) 外来患者

単位: 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	1日平均患者数 (診療日数)
平成 30 年度	初 診	98	105	107	130	108	91	113	105	98	88	95	104	1, 242	276. 3 (244 日)
	再 診	5, 383	5, 888	5, 395	5, 626	5, 989	5, 008	5, 939	5, 719	5, 439	5, 260	5, 078	5446	66, 172	
	延患者数	5, 483	5, 993	5, 502	5, 756	6, 097	5, 099	6, 052	5, 824	5, 537	5, 348	5, 173	5, 550	67, 414	
令和元年度	初 診	97	93	109	125	104	105	112	85	104	106	97	85	1, 222	276. 9 (242 日)
	再 診	5, 317	5, 518	5, 267	5, 903	5, 239	5, 338	6, 054	5, 395	5, 517	5, 553	4, 970	5, 719	65, 790	
	延患者数	5, 414	5, 611	5, 376	6, 028	5, 343	5, 443	6, 166	5, 480	5, 621	5, 659	5, 067	5, 804	67, 012	
令和 2 年度	初 診	110	87	132	101	87	113	103	89	97	100	97	120	1, 236	272. 1 (243 日)
	再 診	5, 562	4, 764	5, 315	5, 840	5, 226	5, 454	5, 861	5, 224	5, 556	5, 266	4, 859	5, 950	64, 877	
	延患者数	5, 672	4, 851	5, 447	5, 941	5, 313	5, 567	5, 964	5, 313	5, 653	5, 366	4, 956	6, 070	66, 113	
令和 3 年度	初 診	144	164	200	161	136	128	131	112	114	129	152	155	1, 726	281. 0 (242 日)
	再 診	5, 652	5, 043	5, 560	5, 643	5, 546	5, 553	5, 609	5, 585	5, 646	5, 303	5, 114	6, 018	66, 272	
	延患者数	5, 796	5, 207	5, 760	5, 804	5, 682	5, 681	5, 740	5, 697	5, 760	5, 432	5, 266	6, 173	67, 998	
令和 4 年度	初 診	138	132	135	132	134	70	103	107	132	112	119	132	1, 446	280. 0 (243 日)
	再 診	5, 596	5, 381	5, 639	5, 542	5, 913	5, 739	5, 445	5, 298	5, 581	5, 263	5, 053	6, 154	66, 604	
	延患者数	5, 734	5, 513	5, 774	5, 674	6, 047	5, 809	5, 548	5, 405	5, 703	5, 375	5, 172	6, 286	68, 050	
令和 5 年度	初 診	163	161	160	119	139	120	136	124	133	115	104	119	1, 593	281. 6 (243 日)
	再 診	5, 310	5, 577	5, 603	5, 431	5, 890	5, 489	5, 795	5, 713	5, 661	5, 388	5, 401	5, 569	66, 827	
	延患者数	5, 473	5, 738	5, 763	5, 550	6, 029	5, 609	5, 931	5, 837	5, 794	5, 503	5, 505	5, 688	68, 420	

(2) 入院患者

単位：人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	1日平均患者数 (診察日数)
平成 30 年度	入 院	62	72	82	94	87	68	71	78	66	74	49	69	872	227. 5 (365 日)
	退 院	68	76	78	68	102	54	78	70	71	73	41	78	857	
	延患者数	6, 306	5, 617	6, 270	7, 053	7, 174	6, 802	7, 194	7, 090	7, 354	7, 258	6, 563	7, 443	83, 024	
令和元年度	入 院	61	66	77	81	60	64	69	76	68	77	64	78	841	216. 5 (365 日)
	退 院	71	80	63	73	78	74	65	69	78	62	70	81	864	
	延患者数	6, 857	6, 779	6, 504	7, 231	6, 929	6, 254	6, 340	6, 243	6, 516	6, 556	6, 406	6, 628	79, 243	
令和 2 年度	入 院	71	69	66	90	84	84	80	73	62	74	62	87	902	215. 5 (366 日)
	退 院	71	64	68	83	93	81	65	82	69	79	67	79	901	
	延患者数	6, 314	6, 591	6, 425	6, 856	6, 738	6, 472	6, 782	6, 765	6, 727	6, 457	5, 721	6, 813	78, 661	
令和 3 年度	入 院	65	66	85	74	77	52	75	57	69	43	50	66	779	200. 7 (365 日)
	退 院	69	77	76	61	79	82	59	59	67	68	49	72	818	
	延患者数	6, 276	6, 544	6, 275	6, 654	6, 751	5, 925	6, 060	6, 079	6, 239	5, 953	4, 910	5, 592	73, 258	
令和 4 年度	入 院	69	66	73	59	48	66	63	51	61	56	61	60	733	186. 3 (365 日)
	退 院	56	50	75	68	60	70	48	66	55	51	60	69	728	
	延患者数	5, 445	5, 867	6, 197	6, 077	5, 655	5, 395	5, 757	5, 558	5, 499	5, 747	5, 158	5, 640	67, 995	
令和 5 年度	入 院	69	68	69	62	82	67	58	57	63	60	60	58	773	196. 8 (366 日)
	退 院	58	58	69	61	78	61	74	64	53	63	53	77	769	
	延患者数	5, 466	6, 098	6, 169	6, 241	6, 417	6, 154	6, 124	5, 654	5, 899	6, 202	5, 633	5, 975	72, 032	

(3) 病棟別病床利用の状況

		1－1病棟	1－2病棟	1－3病棟	2－1病棟	2－2病棟	2－3病棟	小計	1－5病棟	合計
運用病床数 (各年度末) (床)	令和2年度	40	45	35	35	43	60	258	18	276
	令和3年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
	令和4年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
	令和5年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
延患者数 (人)	令和2年度	12,554	9,713	9,731	10,788	12,535	17,313	72,634	6,027	78,661
	令和3年度	12,156	4,648	9,315	11,047	11,706	17,998	66,870	6,388	73,258
	令和4年度	10,700	4,905	7,450	10,918	11,744	16,103	61,820	6,175	67,995
	令和5年度	11,736	7,604	8,428	10,910	12,735	14,695	66,108	5,924	72,032
1日平均 患者数 (人)	令和2年度	34.4	26.6	26.7	29.5	34.3	47.4	199.0	16.5	215.5
	令和3年度	33.3	12.7	25.5	30.3	32.1	49.3	183.2	17.5	200.7
	令和4年度	29.3	13.5	20.4	29.9	32.2	44.1	169.4	16.9	186.3
	令和5年度	32.1	20.8	23.0	29.8	34.8	40.1	180.6	16.2	196.8
病 床 利 用 率 (対運用病床) (%)	令和2年度	86.0	59.1	76.2	84.4	79.9	79.1	77.1	91.7	78.1
	令和3年度	83.2	28.1	72.8	86.6	74.5	82.2	71.0	97.2	72.7
	令和4年度	73.3	29.9	56.7	87.9	74.9	73.5	65.7	94.0	67.5
	令和5年度	80.1	46.2	64.0	87.7	80.9	66.9	70.0	89.9	71.3
新 入 院 患 者 数 (人)	令和2年度	258	27	143	134	271	62	895	7	902
	令和3年度	202	41	101	115	251	61	771	8	779
	令和4年度	182	42	111	136	212	45	728	5	733
	令和5年度	212	20	116	150	222	47	767	6	773
退 院 患 者 数 (人)	令和2年度	224	45	160	129	248	88	894	7	901
	令和3年度	191	41	136	118	231	95	812	6	818
	令和4年度	154	49	130	134	184	69	720	8	728
	令和5年度	184	32	133	144	191	81	765	4	769
平 均 在院日数 (日)	令和2年度	51.1	268.5	63.1	80.9	47.3	229.6	80.2	860.0	86.2
	令和3年度	60.9	156.1	78.7	93.0	47.5	232.0	84.4	1211.3	91.7
	令和4年度	62.7	106.7	60.7	79.8	58.3	281.2	84.3	948.7	92.0
	令和5年度	58.3	291.2	66.6	73.2	60.7	228.3	85.3	1184	92.4

(4) 在院患者の疾病区分

単位：人

区分 年度	統合失調症	気分障害	器質性 精神障害	精神 神経症	その他 精神病	てん かん	中毒性 精神障害	精神 遅滞	その他	精神病質	計
平成30年度末	118	37	1	14	30	1	14	6	8	0	229
令和元年度末	114	33	6	15	24	1	3	9	1	0	206
令和2年度末	117	28	4	4	31	2	10	3	8	0	207
令和3年度末	101	26	4	7	17	0	6	6	1	0	168
令和4年度末	111	26	5	3	17	0	7	3	0	1	173
令和5年度末	113	21	3	9	22	0	3	6	0	0	177

(5) 在院患者の年齢構成

単位：人

区分 年度	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上	計
平成30年度末	36	30	24	36	46	28	29	229
令和元年度末	31	21	27	33	40	28	26	206
令和2年度末	30	24	30	39	35	24	25	207
令和3年度末	22	22	25	28	36	18	17	168
令和4年度末	20	18	23	21	40	34	17	173
令和5年度末	27	22	23	20	30	28	27	177

(6) 在院患者の費用区分

単位：人

区分 年度	措置	国民健康保険	社会保険	老保 後期高齢者	生活 保護	医療 観察法	その他	計
平成30年度末	4	101	74	11	21	16	2	229
令和元年度末	6	88	57	15	19	16	5	206
令和2年度末	4	93	64	8	22	16	0	207
令和3年度末	4	74	50	5	17	18	0	168
令和4年度末	10	70	49	6	22	15	1	173
令和5年度末	6	70	51	18	14	17	1	177

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(7) 在院患者の在院期間

単位：人

区分 年度	1 年未満	1 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	計
平成 30 年度末	152	54	13	10	229
令和元年度末	139	42	17	8	206
令和 2 年度末	149	34	17	7	207
令和 3 年度末	115	36	10	7	168
令和 4 年度末	119	35	12	7	173
令和 5 年度末	128	33	10	6	177

(8) 在院患者の入院形態別

単位：人

区分 年度	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医 療 観察法	その他	計
平成 30 年度末	4	159	0	48	16	2	229
令和元年度末	6	147	0	34	16	3	206
令和 2 年度末	4	150	0	37	16	0	207
令和 3 年度末	4	116	0	30	18	0	168
令和 4 年度末	10	120	0	27	15	1	173
令和 5 年度末	6	115	0	38	17	1	177

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(9) 新規入院患者の入院形態

単位：人

区分 年度	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医 療 観察法	その他	計
平成 30 年度	56	457	3	351	3	2	872
令和元年度	40	420	11	363	3	4	841
令和 2 年度	45	554	9	285	7	2	902
令和 3 年度	40	489	5	235	8	2	779
令和 4 年度	66	420	4	233	5	5	733
令和 5 年度	43	411	6	305	6	2	773

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(10) 病棟別新規入院患者の入院形態別患者数（令和 5 年度）

単位：人

区分 病棟	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医 療 観察法	その他	計
1 － 1 病 棟	24	107	0	79	0	2	212
1 － 2 病 棟	0	14	0	6	0	0	20
1 － 3 病 棟	0	77	0	39	0	0	116
2 － 1 病 棟	0	64	1	85	0	0	150
2 － 2 病 棟	19	143	5	55	0	0	222
2 － 3 病 棟	0	6	0	41	0	0	47
小 計	0	0	0	0	0	0	767
1 － 5 病 棟	0	0	0	0	6	0	6
合 計	43	411	6	305	6	2	773

※医療観察法には、入院処遇（特定医療施設入院を含む）及び同法による鑑定入院患者を含む。

(11) 退院患者の在院期間

単位：人

区分 年度	3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上	計
平成 30 年度	693	107	26	31	857
令和元年度	689	91	47	37	864
令和 2 年度	736	102	30	33	901
令和 3 年度	661	94	28	35	818
令和 4 年度	609	71	24	24	728
令和 5 年度	617	100	23	29	769

(12) 退院患者の転帰別状況

単位：人

区分 年度	転 帰						退院先				計
	寛解	軽快	悪化	未治 不変	死亡	その他	自宅	施設	転院	その他	
平成 30 年度	12	631	0	211	3	0	661	120	67	9	857
令和元年度	26	617	0	217	4	0	690	114	54	6	864
令和 2 年度	0	746	0	151	4	0	672	142	83	4	901
令和 3 年度	2	702	1	108	5	0	613	140	63	2	818
令和 4 年度	1	664	0	60	3	0	527	141	58	2	728
令和 5 年度	0	729	0	38	2	0	580	118	69	2	769

(13) 診療圏

① 在院患者（令和6年3月31日現在）

市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水戸市	41	23.1	鹿嶋市	5	2.8	東茨城郡	9	5.0
日立市	7	3.9	潮来市	1	0.5	那珂郡	1	0.5
土浦市	4	2.2	守谷市	2	1.1	久慈郡	1	0.5
古河市	3	1.6	常陸大宮市	2	1.1	稲敷郡	0	0
石岡市	5	2.8	那珂市	8	4.5	結城郡	0	0
結城市	3	1.6	筑西市	4	2.2	猿島郡	2	1.1
龍ヶ崎市	1	0.5	坂東市	1	0.5	北相馬郡	1	0.5
下妻市	0	0	稲敷市	0	0	郡計	14	7.9
常総市	1	0.5	かすみがうら市	2	1.1	県内合計	175	98.8
常陸太田市	1	0.5	桜川市	7	3.9			
高萩市	0	0	神栖市	4	2.2	東京都	0	0
北茨城市	1	0.5	行方市	2	1.1	その他県	2	1.1
笠間市	24	13.5	鉾田市	3	1.6	県外合計	2	1.1
取手市	2	1.1	つくばみらい市	0	0			
牛久市	2	1.1	小美玉市	8	4.5			
つくば市	8	4.5	市計	161	90.9			
ひたちなか市	9	5.0				総計	177	100

② 外来患者（令和5年度）

市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水戸市	16,092	23.5	鹿嶋市	726	1.0	東茨城郡	3,191	4.6
日立市	2,724	3.9	潮来市	387	0.5	那珂郡	875	1.2
土浦市	318	1.9	守谷市	229	0.3	久慈郡	175	0.2
古河市	165	0.2	常陸大宮市	1,059	1.5	稲敷郡	500	0.7
石岡市	3,589	5.2	那珂市	1,550	2.2	結城郡	67	0.1
結城市	397	0.5	筑西市	1,162	1.6	猿島郡	121	0.1
龍ヶ崎市	314	0.4	坂東市	157	0.2	北相馬郡	25	0.1
下妻市	263	0.3	稲敷市	147	0.2	郡計	4,954	7.2
常総市	263	0.3	かすみがうら市	589	0.8	県内合計	66,914	97.7
常陸太田市	1,299	1.8	桜川市	1,391	2.0			
高萩市	407	0.5	神栖市	993	1.4	東京都	187	0.2
北茨城市	485	0.7	行方市	889	1.2	その他県	1,319	1.9
笠間市	13,297	19.4	鉾田市	1,940	2.8	県外合計	1,506	2.2
取手市	318	0.4	つくばみらい市	120	0.1			
牛久市	453	0.6	小美玉市	2,873	4.1			
つくば市	1,754	2.5	市計	61,960	90.5			
ひたちなか市	4,610	6.7				総計	68,420	100

6 専門医療

(1) 精神科救急医療

	精神保健福祉法警察官通報							左記以外の申請・通報等							一般救急				計			
	診 察	入 院	内訳 (入院形態)			休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	内訳 (入院形態)			休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	休日 夜間 (再掲)	
			措置 (緊急措置)	医 療 保 護	そ の 他	診 察	入 院			措置 (緊急措置)	医 療 保 護	そ の 他	診 察	入 院			診 察	入 院				
平成 30 年度	70	58	50	7	1	65	53	16	10	6	4	0	3	1	1,173	414	262	133	1,259	482	330	187
令和元年度	36	33	30	3	0	31	28	16	11	10	1	0	0	0	927	424	290	124	979	468	321	152
令和 2 年度	53	41	37	4	0	43	34	12	10	8	2	0	1	1	960	504	357	154	1,025	555	401	189
令和 3 年度	55	43	35	8	0	46	37	10	6	5	1	0	2	1	829	423	281	135	894	472	329	173
令和 4 年度	67	66	58	7	1	57	51	9	8	7	1	0	3	3	564	289	254	115	640	363	314	169
令和 5 年度	63	59	50	9	0	57	49	7	4	4	0	0	2	1	762	284	269	107	832	338	328	157

※「一般救急」は、患者家族・市町村・保健所等からの相談等による救急受診の件数である。

(2) 薬物等中毒性精神障害治療

入院

年 度	受入れ実績
平成 30 年度	86 人
令和元年度	81 人
令和 2 年度	70 人
令和 3 年度	57 人
令和 4 年度	32 人
令和 5 年度	69 人

外来

年 度	受診（実人員）
平成 30 年度	375 人
令和元年度	343 人
令和 2 年度	374 人
令和 3 年度	371 人
令和 4 年度	354 人
令和 5 年度	378 人

(3) 児童・思春期精神科医療

① 外来診療 当院における初診患者数と20歳未満の初診患者数の年度別推移

年度	外来初診者数 (A)	20歳未満の初診患者	
		患者者数(B)	割合(B/A)
平成30年度	1,242人	338人	27.2%
令和元年度	1,222人	340人	27.8%
令和2年度	1,236人	356人	28.8%
令和3年度	1,726人	494人	28.6%
令和4年度	1,446人	430人	29.7%
令和5年度	1,593人	473人	29.6%

② 20歳未満の初診患者の年齢構成

年度	12歳以下 (A)	13～15歳 (B)	16～18歳	19歳	計 (C)	15歳以下の 占める割合 (A+B)/C
平成30年度	96人	133人	88人	21人	338人	67.7%
令和元年度	130人	113人	77人	20人	340人	71.4%
令和2年度	115人	118人	95人	28人	356人	65.4%
令和3年度	130人	184人	142人	38人	494人	63.6%
令和4年度	96人	154人	149人	31人	430人	58.1%
令和5年度	132人	188人	128人	25人	473人	67.6%

③ 児童・思春期外来の初診患者数と延べ患者数の年度別推移

年度	初診患者数	児童思春期 外来受診者数
平成30年度	317人	6,180人
令和元年度	320人	7,624人
令和2年度	328人	7,902人
令和3年度	318人	7,954人
令和4年度	323人	8,172人
令和5年度	417人	8,175人

④ 入院患者の動向（児童・思春期専門病棟の入院患者の年度別推移）

年度	12 歳以下 (A)	13～15 歳 (B)	16～18 歳	19 歳	20 歳以上	計 (C)	15 歳以下の 占める割合 (A+B)/C
平成 30 年度	16 人	44 人	26 人	1 人	0 人	87 人	69.0%
令和元年度	21 人	29 人	26 人	1 人	0 人	77 人	64.9%
令和 2 年度	24 人	55 人	56 人	8 人	0 人	143 人	55.2%
令和 3 年度	17 人	53 人	30 人	1 人	0 人	101 人	69.3%
令和 4 年度	23 人	53 人	29 人	6 人	0 人	111 人	68.4%
令和 5 年度	26 人	51 人	35 人	4 人	0 人	116 人	66.3%

（４）医療観察法に基づく入院及び指定通院患者数

年 度	鑑定入院 患者数	入院処遇者実数	通院処遇者実数
平成 30 年度	1 人	19 人	1 人
令和元年度	4 人	19 人	1 人
令和 2 年度	2 人	23 人	0 人
令和 3 年度	3 人	24 人	0 人
令和 4 年度	5 人	23 人	1 人
令和 5 年度	4 人	24 人	1 人

7 各部門の実施状況

(1) リハビリテーション部

①デイケア

体制：看護師2名（うち非常勤1名）、精神保健福祉士1名、作業療法士1名

対象：外来通院中の患者、退院前の患者

実施内容：デイケア及びショートケア（月～金曜）

運動プログラム・心理教育プログラム

外来講師プログラム、作業プログラム

LST（自閉スペクトラム症の方のための生活対人技能トレーニング）

メタ認知トレーニング・疾病教育

WRAP 等 病院行事参加

その他：訪問看護部門と連携し情報共有をしている

施設見学（就労支援施設等）

デイケア参加人数

単位：人

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
デイケア	2,035	2,097	1877
ショートケア	2,062	1,544	1393
入院	2	9	27

プログラム実施状況

手工芸		450	394	352
軽スポーツ		3,206	2,696	2479
料理		－	－	103
園芸		81	107	85
創作活動		544	597	435
自主活動		557	567	508
季節イベント（含実行委員会）		62	130	251
ひだまり通信		76	87	63
七宝焼		40	80	68
教育プログラム実施状況	LST	35	39	12
	疾病教育	86	97	51
	メタ認知トレーニング	155	172	102
	WRAP	109	127	84
	ダイエットプログラム	101	－	－
	SCIT（R4.2月から）	32	81	34
	SST	90	57	8
	就労準備プログラム	181	221	89
	アンガーコントロール	47	4	4
	アサーション	60	67	57
グ 師 外 ラ プ 来 ム ロ 講	絵手紙	16	25	32

訪問リハビリ

退院前後訪問	－	－	10
--------	---	---	----

注：プログラム実施状況では、すべてのプログラムの実施件数を記載したため、実際の参加人数とは異なる。

②作業療法

体制：作業療法士8名

対象：入院・通院の区別なく、急性期から慢性期まで対応。

実施内容

病棟内作業療法：パラレル OT、軽スポーツ、ヨガ

病棟外作業療法：ふるみえ（軽スポーツ）

手工芸（自分の好きな作業をゆったりとしたスペースで行う）

アトリエ（救急病棟の患者のみ対象、刺激の少ない環境で手芸などを行う）

再発予防プログラム：クライシスプラン、心理教育、アサーショントレーニング、アンガーコントロール、SST、コグトレ（認知機能強化トレーニング）、ストレス対処プログラム

多職種協働プログラム：心理教育

SMARPP（スマープ：物質使用障害治療プログラム）

コンカレントプログラム（DV被害を受けた母子のための同時並行プログラム）

訪問リハビリ：退院前後訪問（病棟看護師とともに入院中に行ったプログラムの経過について確認、相談を行う）

訪問看護（訪問看護と連携し、患者の生活場面での評価プログラムを行う）

作業療法の実施状況

単位：人

プログラム		年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			外来	入院	外来	入院	外来	入院
ぷ る み え			－	2,685	－	1,946	－	2,518
手 工 芸			－	618	－	469	－	764
アトリエ			－	192	－	240	－	333
思 春 期			－	515	－	355	－	434
薬物回復 プログラム 〈スマーフ〉	269 アルコール ※H25.6から		97	14	175	58	211	104
心理教育〈つばさ〉			－	10	21	4	43	9
コンカレント プログラム	母親グループ		15	－	33	－	14	
	子どもグループ		5	－	35	－	13	
1 － 1 病棟				2,731		1,902		1,777
1 － 2 病棟				301		286		548
2 － 1 病棟				910		884		921
2 － 2 病棟		軽スポ ーツ		616	軽スポ ーツ	1,942	軽スポ ーツ	1,991
		学び		41	学び		学び	
		ヨガ ストレッチ		511	ヨガ ストレッチ		ヨガ ストレッチ	
		フリー活動		726	フリー活動		フリー活動	
		病気理解 プログラム		60	病気理解 プログラム 等		病気理解 プログラム 等	
2 － 3 病棟				1,170		1,200		1,055
個 別				226		126		－
合 計			117	11,326	264	9,412	281	10,454

注：請求件数外も含む。

訪問リハビリ

退院後訪問	－	－	60
訪問看護	－	－	24

③理学療法

体制：理学療法士1名

対象：廃用や疾患により身体機能が低下した入院中の患者

実施内容：身体機能に合わせて個別に対応し、必要に応じて運動メニューの作成を行っている。また、各病棟において実施している。

理学療法の実施状況

単位：人

病 棟 \ 年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1-1 病棟	109	114	95
1-2 病棟	100	119	202
1-3 病棟	11	27	4
1-5 病棟	17	14	20
2-1 病棟	73	81	79
2-2 病棟	158	140	71
2-3 病棟	378	312	266
合 計	846	807	737

その他：水曜日のふるみえに参加している。

リハビリテーション科医師への診察依頼（原則月2回）があった場合に同行している。

補装具の相談・検討を行う。必要に応じてリハビリテーション科医師・義肢装具士と連携する。

必要に応じて病棟と連携し、退院前訪問を行う。

(2) 総合診療部

①心理室

心理療法の状況

区 分	件 数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個人心理療法	717	803	874	818	827
集団心理療法	274	583	706	629	476

心理検査の実施状況

種 別		件数		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	W A I S - I V (成人知能検査)	142	154	150
	W I S C - I V (児童知能検査)	63	42	10
	W I S C - V	-	14	73
	田中ビネー知能検査	2	2	-
	J A R T	2	2	4
パ ー ソ ナ リ テ ィ 検 査	ロールシャッハテスト	52	31	28
	M M P I	-	-	-
	S C T (文章完成法)	43	52	36
	描画テスト	25	31	36
	P F study	83	107	86
	エゴグラム	5	3	4
	小児ANエゴグラム	2	4	1
	プロジェクト・エゴグラム	-	-	-
認 知 機 能 検 査 そ の 他 の 心 理 検 査	矢田部ギルフォード性格検査	2	3	6
	W M S - R (ウェクスラー記憶検査)	-	-	-
	D N - C A S	-	-	-
	前頭葉機能検査 (F A B)	10	10	4
	コグニスタット認知機能検査	-	-	-
	記銘力検査	1	-	-
	クレペリン精神作業検査	-	-	-
	ベンダーゲシュタルト検査	-	-	-
	ベントン視覚記銘力検査	3	1	1
	遂行機能障害群の行動評価 (B A D S)	4	3	2
	T S C C	-	-	-
	C o n n e r s 3	20	35	67
	C A A R S	77	56	79
	P A R S - T R	9	6	4
	F D T	-	-	-
	小学生の読み書きスクリーニング検査	1	3	3
	A Q	100	90	117
	M M S E - J	9	2	7
	長谷川式認知症スケール	4	2	7
	リバーミード行動記憶検査	5	1	1
	トレイルメイキングテスト	1	4	2
	その他	7	11	9
合 計		672	669	737

心理教育プログラム

他職種や他機関と協同し実施。

種 別	人数		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
統合失調症心理教育（本人）	14	27	53
統合失調症家族心理教育	28	63	98
発達障害家族心理教育	11	31	38

集団プログラム

多職種で実施。

種 別	人数		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
コンカレントプログラム母親グループ	15	34	12
コンカレントプログラム子どもグループ	6	36	13
発達障害小学生プログラム	0	0	0
薬物・アルコール依存治療グループ	112	215	301

②栄養科

給食実績

年 度	延べ 給食数	内 訳					栄養指導	
		患者食		職員食	デイ ケア	その他		
		一般食	治療食				個人	集団
令和 3 年度	222, 611	132, 946	79, 248	3, 950	2, 036	4, 431	555	1, 102
令和 4 年度	206, 118	129, 274	66, 644	3, 728	2, 092	4, 380	564	955
令和 5 年度	214, 178	139, 434	64, 563	3, 928	1, 861	4, 392	420	927

③薬剤科

調剤実++633 績

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
外来院内処方せん枚数	1, 509 枚	1, 436 枚	1, 352 枚
入院処方せん枚数（内服・外用）	20, 061 枚	17, 154 枚	19, 027 枚
入院注射せん枚数	2, 917 件	2, 213 件	3, 088 件
服薬指導件数	1, 003 件	922 件	1, 010 件
服薬指導請求件数	421 件	481 件	475 件
持参薬確認件数	753 件	890 件	1, 247 件
S S T（集団服薬指導）担当回数	28 回	25 回	39 回
薬物家族教室，心理教育担当回数	5 回	6 回	5 回
外来院外処方せん枚数	56, 082 枚	55, 835 枚	56, 231 枚
院外処方せん発行率	97. 4%	97. 5%	97. 7%

④研究検査科

臨床検査の実施件数（令和5年度）

臨床検査・X線撮影検査の状況

(1) 臨床検査の状況

区分	種 別		件 数	区分	種 別	件 数
生化学	肝機能検査		29,746	細菌	嫌気性菌検査	42
	腎機能検査		8,346		真菌検査	1
	脂質検査		6,137		その他	11
	内分泌検査		4,305	血清	梅毒検査	1,477
	血中薬物検査		1,736		肝炎ウイルス検査	1,443
	血液ガス分析		2		血液型	20
	その他		25,277		クロスマッチ	0
血液	血球検査		29,432		その他	4,814
	血液凝固		509	生理	心電図	960
	その他		55		脳波	489
一般	尿検査		13,360		肺機能検査	0
	便検査		17		超音波	63
	その他		43		終夜睡眠ポリグラフィー	3
細菌	一般細菌	塗抹	60		病理	その他
		培養	109	細胞診		0
		同定	48	染色体		0
		感受性検査	48	その他	0	
	結核菌	塗抹	4	遺伝子	COVID-19PCR	1,357
		培養	4			
		同定	0	計		130,193
		感受性検査	0			

X線検査の状況

種 別	件数
一般撮影	1,201
CT 撮影	261
MRI 撮影	859
計	2,321

(3) 福祉連携サービス部

医療福祉相談室と地域医療連携室が協働して業務を実施している。
患者や家族・地域の関係機関からの相談や依頼に応じるとともに、地域の隠れたニーズの把握に努めている。

- 1 ケースワークに関すること
 - ・入院治療に関する福祉相談、ケースワーク
 - ・外来治療、地域生活に関する福祉相談、ケースワーク
 - ・カンファレンスの積極的な開催
- 2 連携の積極的な推進
 - ・地域からの相談窓口としての役割
 - ・県立中央病院（同一市内の総合病院）との救急連携

① 医療福祉相談室

精神科ネットワーク事業に関すること（県内の医療連携づくり）

1 精神科ネットワーク実務者会議

適切な精神科医療を提供できるよう県内各医療機関と連携のために、具体的な連携方法について情報交換・検討を行う

第26回 令和5年7月4日（木） テーマ：知って得する精神科情報

第27回 令和6年2月1日（木） テーマ：人権擁護

2 こころとからだの事例検討会

救急隊から現場で苦慮した事例をもらい、身体科医療機関・精神科医療機関、救急隊、警察、行政などそれぞれの立場から意見交換を行う

第20回 令和5年11月10日（金）

3 精神科ネットワーク連携医療機関一覧 改訂

精神科ネットワーク連携医療機関資料集 第8版作成

② 地域医療連携室

1 アウトリーチ事業に関すること（地域のニーズの掘り起こしと課題解決活動）

・こころの医療連携会議

石岡市、笠間市、鉾田市、茨城町、大洗町、小美玉市の各市町と年2～3回ずつケースカンファレンス、勉強会、テーマを定めた協議・検討等を実施している。

小美玉市においては、令和元年度より市主催として開催している。

・多職種訪問事業 延べ 85件

うち往診11件 従来型アウトリーチ（退院後訪問を含む）74件

往診のうち3件が入院、1件が通院につながった。

笠間市から「ひきこもり自立支援アウトリーチ事業」を受託し、8件訪問を実施した。

2 啓発活動に関すること

・講演会、研修会への講師派遣 9団体

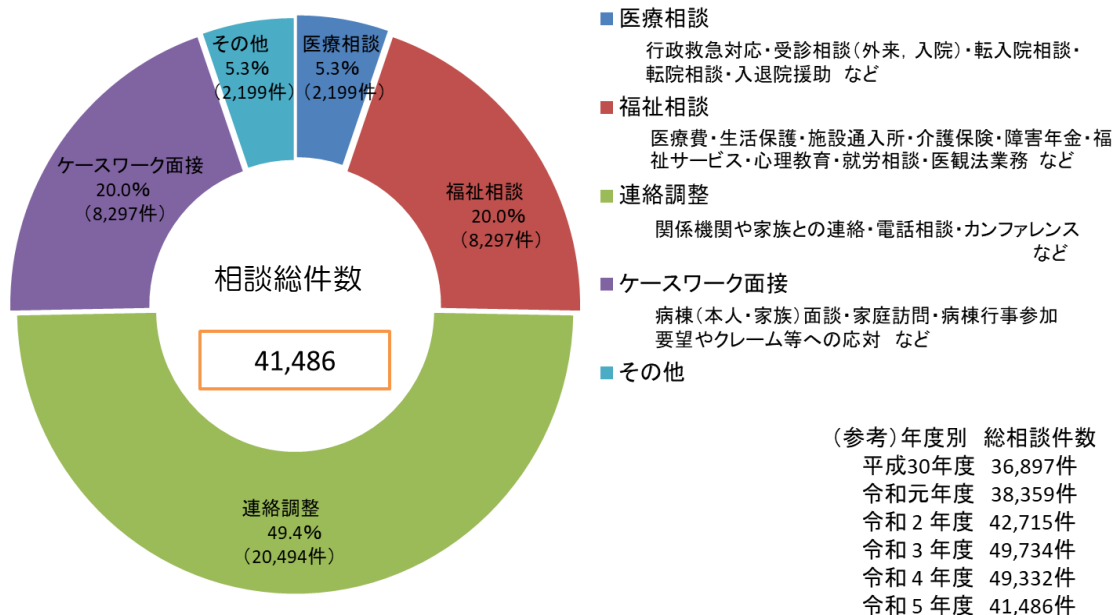
3 ボランティアの育成と協働事業の開催

・毎月ボランティア定例会を開催し、ボランティアの育成・支援を実施する。

・ボランティアとの協働による院内イベント開催時の支援。

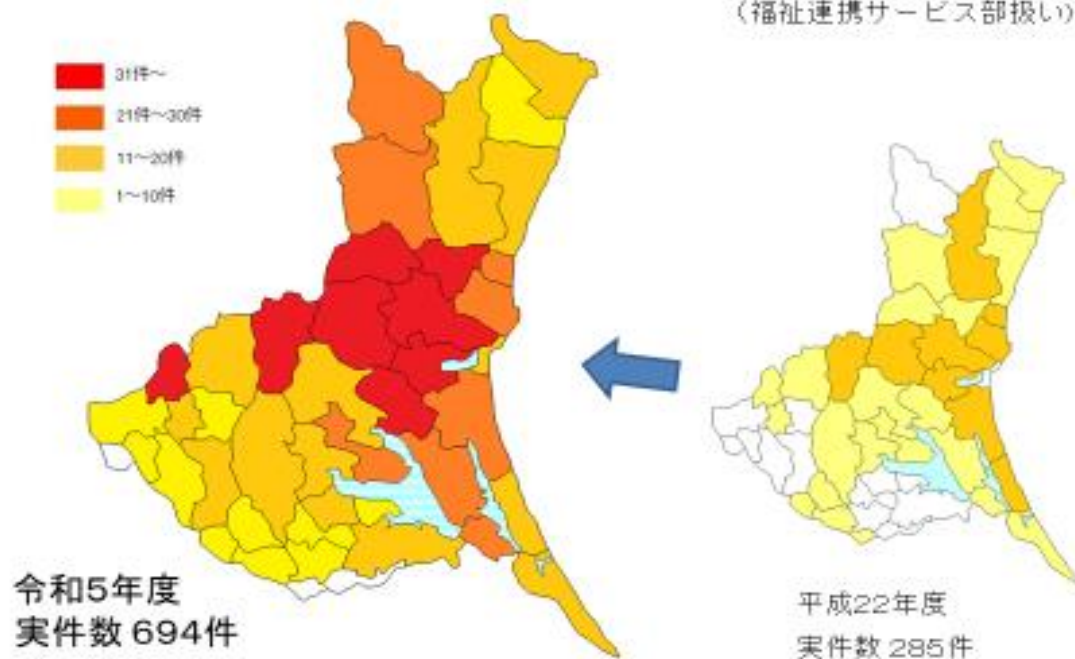
・玄関案内（随時）等への支援。

令和5年度 PSW業務実績内容



市町村別 受診相談件数(人口10万人あたり)の推移

(福祉連携サービス部扱い)



公開講座開催実績

回数	開催年月	テ　　マ	講　　　　　師
第1回	平成23年	6月 「病は夜つくられる」 ～睡眠時無呼吸症候群と心身の健康～	こころの医療センター 病院長 土井永史
第2回		7月 「オレ、クスリやめたいんだ…」 ～薬物依存症の入門からリハビリまで～	こころの医療センター 副院長 中村恵・医療局長 妹尾栄一
第3回		8月 「傷つく子どもたち助けたい大人たち」 ～児童思春期精神科医療を訪れる子どもたち～	こころの医療センター 医療局長 清水文雄
第4回		9月 「幸せの黄色い救急車」 ～精神科に入院が必要なとき～	こころの医療センター 医長 白鳥裕貴
第5回		10月 「うちに帰りたいんだ…退院できるかなあ」 ～慢性期統合失調症のリハビリと地域ケアについて～	こころの医療センター 医療局長 影山治雄
第6回		11月 「これってホントに認知症？」 ～認知症の鑑別診断～	こころの医療センター 医療局長 佐藤雅士
第7回	平成24年	1月 「いいMRI入りました」 ～最先端の脳画像検査～	こころの医療センター 医師 石川和宏・医師 田村昌士
第8回		2月 「うつと自殺」 ～若者の自殺はどのようにして防げるのか～	筑波大学大学院講師 太刀川弘和 こころの医療センター 医師 井口俊大
特別公開講座		3月 「うつについて」	こころの医療センター 医師 井口俊大
第9回		5月 「神経を癒す電磁気の力」 ～電気磁気刺激療法の新しい展開～	こころの医療センター 病院長 土井永史
第10回		6月 「シネマ処方箋」 ～精神科医がすすめる、こころの病を描いた映画～	筑波大学 医学医療系教授 高橋祥友
第11回		7月 「児童・思春期精神科の入院」 ～一般精神科入院医療との違い～	こころの医療センター 医療局長 清水文雄
第12回		8月 「思春期の摂食障害」 ～エビデンスにもとづくアプローチ～	こころの医療センター 副院長 中村恵・臨床心理士 稲沼邦夫
第13回		9月 「こころのサインに気づく・つなげる」 ～自殺予防の基礎知識～	筑波大学 医学医療系教授 高橋祥友
第14回		10月 「たまにはマジメな薬のお話でも…」 ～抗精神病薬の神経保護作用について～	こころの医療センター 医師 石川和宏
第15回		11月 「認知症ってどんな病気：予防できるの？」	筑波大学 医学医療系臨床医学域精神医学教授 朝田隆
第16回	平成25年	1月 「最近の若者のメンタルヘルス」 ～自殺予防の観点も踏まえて～	筑波大学保健管理センター医師 太刀川弘和
第17回		1月 「薬物依存症の理解と対策」 ～薬物専門外来の役割について～	こころの医療センター 副院長 中村恵
第18回		4月 「光でみる脳と心」 ～思考と感情のしくみを探る～	東京都医学総合研究所 ヒト統合脳機能プロジェクト 星詳子
第19回		6月 「うつ病に気付く・うつ病を治す」 ～光トポグラフィ検査にも触れて～	こころの医療センター 医療技術部長 大嶋明彦
特別講座		10月 「痛みにおけるこころと身体の問題」 ～痛みに対する身体的・心理的アプローチ～	東京都保健医療公社荏原病院
第20回		10月 「身体科と精神科の連携」	県立中央病院 総合診療科医長 関義元 県立中央病院 副院長 鈴木孝之
第21回	平成26年	3月 「精神医学的にみた夏目漱石」 ～痛みながら生きる者への畏敬～	筑波大学大学院 人間総合科学研究科教授 高橋正雄
第22回		3月 「パーソナリティ障害の理解と対応・治療」	帝京大学附属病院 精神科病院教授 林直樹
第23回		6月 「やる気が起きない…」 「不安もいっぱい…」 適応障害の正しい知識と対応方法	こころの医療センター 医長 山形晃彦
第24回		8月 「発達障害と医療」 ～本人の困っている思いと周囲はどのように付き合うのか～	こころの医療センター 医長 藤田俊之
市民公開講座	平成27年	3月 「睡眠・体内時計と健康づくり」	日本大学医学部 教授 内山真
市民公開講座		3月 「病は夜つくられる」 ～睡眠呼吸障害と歯科・内科・薬科連携～	筑波大学睡眠医学講座 教授 佐藤誠
市民公開講座		3月 「睡眠・覚醒の謎に挑む」 ～神経科学研究の最前線～	筑波大学国際統合睡眠科学研究機構 教授 柳沢正史
第25回		6月 「大人の発達障害」 ～本人の困っている思いと周囲はどう関われるのか～	こころの医療センター副院長 堀孝文
睡眠フォーラム in水戸		8月 「不眠時処方を一生に一度くらい考えてみる」	スタンフォード大学精神医学科 睡眠医学部門 クリニカルインストラクター 河合真
第26回		9月 「大人の発達障害」曰本人の困っている思いと周囲はどう関われるのか～	こころの医療センター副院長 堀孝文
第27回	平成28年	6月 「職場のメンタルヘルス」	こころの医療センター 医長 山形晃彦
第28回		10月 「災害時のこころの支援」	筑波大学 医学医療系准教授 こころの医療センター 地域・災害支援部長 高橋晶
第29回	平成29年	9月 「薬物・アルコール依存について」	こころの医療センター 副院長 妹尾栄一
第30回	平成30年	3月 「解離性障害について」	こころの医療センター 医師 日向 勝之
第31回		9月 「境界性パーソナリティ障害について」	こころの医療センター 医師 水谷 洋介
第32回	平成31年	2月 「シネマ処方箋～映画にみるこころの病～」	筑波大学 医療医学系 教授 災害・地域精神医学 高橋 祥友
第33回		5月 「ねむりの問題について考えましょう」	こころの医療センター 医師 神林 崇 こころの医療センター 医師 近藤 英明
第34回	令和4年	2月 「依存症について」	こころの医療センター 医師 小松崎 智恵
第35回		6月 「発達障害について」	こころの医療センター 医師 藤田 俊之
第36回	令和5年	2月 「ひきこもりの実情と対応の仕方について」	こころの医療センター 医師 小川 貴史
第37回		3月 「摂食障害について」	こころの医療センター 医師 児玉 貴久子
第38回		5月 「コロナ罹患後のメンタルケアについて」	こころの医療センター 医師 高橋 晶

(4) 訪問看護

- ① 開始日：平成6年4月1日
- ② 体制：看護師9名（再任用1名、会計年度3名）、精神保健福祉士3名、作業療法士1名、専用車4台
- ③ 目的：利用者に安心感を与え、周囲の人々とのつながりを持ちながら、可能な限り居宅で生活できるように支え、また、利用者自身が自らの力で問題解決をしながら生活を営めるように、様々な側面を支援する。
- ④ 支援内容：
 - 異常の早期発見・再燃の予防
症状の観察・副作用の観察・服薬管理・受診行動（社会資源の活用）への援助・対処行動の指導・合併症のコントロール・身体状態の観察と指導など
 - 日常生活行動の援助：生活上の困り事への援助と調整、生活スキルの維持・向上支援
 - 対人関係調整
 - 健康の維持・向上の援助
 - 利用者の状態や困り事、社会資源の活用に関する多職種との連携
医師・外来看護師・病棟看護師・ケースワーカー・デイケアスタッフ・作業療法スタッフ・市町村職員（福祉関係・保健関係）・地域活動支援センターなどの社会資源のスタッフなど
- ④ 訪問件数の推移

年 度	訪問件数	うち複数名による	年間対象者数 (年度末日)
		訪問件数	
平成30年度	3,517件	2,029件	237人
令和元年度	3,113件	1,805件	223人
令和2年度	2,464件	1,278件	220人
令和3年度	2,510件	1,613件	198人
令和4年度	2,737件	1,290件	191人
令和5年度	3,695件	2,432件	196人

- ⑤ 利用者等
利用者は、50代が24%、60代が25%、70歳以上が13%と高齢化が進んでいる。

2 貸借対照表（税抜き）

（単位：円）

年 度			令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
項 目						
資 産	固定資産	土地	6,510,735	6,510,735	6,510,735	6,510,735
		建物	3,406,819,115	3,214,359,400	3,107,389,334	2,954,203,001
		構築物	106,050,629	74,616,363	65,185,929	62,343,998
		器械備品	326,166,788	280,056,275	223,191,835	225,128,565
		車両	3,892,541	2,935,191	2,210,944	1,658,071
		リース資産	32,637,263	23,407,274	18,269,093	13,130,912
		建設仮勘定	0	11,727,273	0	0
		電話加入権	38,000	38,000	38,000	38,000
		その他無形固定資産	16,906,690	13,624,804	10,342,918	7,061,032
		長期前払消費税	25,555,927	24,930,204	25,987,967	28,549,139
		計	3,924,577,688	3,652,205,519	3,459,126,755	3,298,623,453
	流動資産	現金・預金	1,305,366,347	1,650,019,106	1,502,592,482	1,354,331,575
		未収金	614,076,233	571,183,070	473,406,906	433,287,564
		貸倒引当金	△25,544,461	△11,385,632	△27,840,666	△26,203,453
		貯蔵品	11,418,310	8,580,578	7,521,923	6,973,435
		計	1,905,316,429	2,218,397,122	1,955,680,645	1,768,389,121
	資産合計		5,984,389,235	5,829,894,117	5,414,807,400	5,067,012,574
負 債	固定負債	その他固定負債	3,292,392,185	3,156,437,105	3,054,947,478	2,943,988,264
		計	3,292,392,185	3,156,437,105	3,054,947,478	2,943,988,264
	流動負債	未払金	234,457,665	292,094,225	338,072,725	212,945,644
		その他流動負債	469,675,236	426,241,328	354,063,939	377,397,036
		計	704,132,901	718,335,553	692,136,664	590,342,680
	繰延収益	長期前受金	2,176,929,155	2,272,275,155	2,353,713,010	2,441,460,080
		収益化累計額	△1,177,542,676	△1,320,614,478	△1,446,981,637	△1,568,783,911
		計	999,386,479	951,660,677	906,731,373	872,676,169
	負債合計		4,995,911,565	4,826,433,565	4,653,815,515	4,407,007,113
	資本金	自己資本金	3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648
		計	3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648
	剰余金	資本剰余金	-	-	-	-
		利益剰余金	△3,018,968,096	△2,808,781,342	△3,091,958,763	△3,192,945,187
		計	△3,018,968,096	△2,808,781,342	△3,091,958,763	△3,192,945,187
	資本合計		833,982,552	1,044,169,306	760,991,885	660,005,461
	負債・資本合計		5,829,894,117	5,870,602,641	5,414,807,400	5,067,012,574

3 財務分析

項 目 \ 年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産及び資本構成 (%)	固定資産構成比率	67.3	62.2	63.9	65.1
	自己資本構成比率	14.3	17.8	14.1	13.0
	固定比率	470.6	349.8	454.6	499.8
	固定資産対長期資本比率	95.1	86.9	90.6	91.5
	流動比率	270.6	308.8	282.6	299.6
	現金比率	185.4	229.7	217.1	229.4
回 転 率 (回)	自己資本回転率	0.75	0.73	0.69	0.73
	固定資産回転率	0.74	0.75	0.75	0.83
	未収金回転率	4.72	4.78	5.07	6.20
損 益 比 率 (%)	総収益対総費用比率	101.7	105.1	92.9	97.4
	医業収益対医業費用比率	75.1	71.2	69.5	76.0
	不良債務比率	—	—	—	—

4 経営分析

年 度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
項 目						
病床利用率（％）			78. 1	72. 7	67. 5	71. 3
外来入院患者比率（％）			90. 0	94. 0	100. 1	95. 0
1日あたり 患者数（人）	医師	入院	9. 4	8. 1	8. 0	8. 7
		外来	8. 4	7. 6	8. 0	8. 2
	看護 部門	入院	1. 2	1. 1	1. 0	1. 1
		外来	1. 1	1. 1	1. 0	1. 0
患者1日1人あたり 診療収入（円）		入院	26, 987	27, 803	27, 508	27, 803
		外来	7, 344	7, 305	7, 202	7, 446
職員1日1人あたり 診療収入（円）		医師	314, 810	281, 140	278, 167	301, 685
		看護 部門	40, 226	39, 070	36, 299	38, 291
患者1日1人あたり 薬品費（円）		投薬	387	373	345	335
		注射	425	446	503	559
		計	812	819	848	894
薬品使用効率（％）		投薬	98. 2	97. 4	92. 9	92. 3
		注射	103. 4	108. 1	110. 2	111. 7
医療材料消費率（％）			5. 8	5. 8	6. 4	6. 5
診療収入に 対する割合（％）	投薬注射収入		4. 6	4. 7	5. 0	5. 2
	検査収入		1. 3	1. 6	1. 9	1. 2
	放射線収入		0. 4	0. 5	0. 5	0. 4
対医業収益費（％）	薬品費		4. 2	4. 1	4. 4	4. 5
	その他材料費		1. 1	1. 2	1. 4	1. 3
	職員給与費		94. 9	101. 3	103. 2	95. 7
患者100人 あたり（件）	検査件数		89. 8	90. 2	91. 1	92. 7
	放射線件数		1. 7	1. 5	1. 5	1. 7
病床100床 あたり職員数（人）	医師		8. 3	8. 7	8. 0	8. 3
	看護部門		65. 2	64. 5	65. 2	64. 9
	全職員		97. 5	96. 4	96. 7	96. 7
職員1人あたり給与費（千円）			7, 502	7, 424	7, 463	7, 596

*病床利用率は、運用病床で算出している。

Ⅵ 令和 6 年度予算

1 収益の収入及び支出

収入

(単位：千円，％)

款	項	目	予算額	構成比
事業収益			4,178,635	100.0
	1 医業収益		3,138,382	75.1
		1 入院収益	2,241,537	53.7
		2 外来収益	557,028	13.3
		3 その他医業収益	339,817	8.1
	2 医業外収益		1,039,253	24.9
		1 受取利息	300	0.0
		2 他会計補助金	15,740	0.4
		3 他会計負担金	862,722	20.7
		4 患者外給食収益	1,044	0.0
		5 長期前受金戻入	124,089	3.0
		6 資本費繰入収益	18,326	0.4
		7 その他医業外収益	17,032	0.4
	3 特別利益		1,000	0.0
		1 固定資産売却益	0	0.0
		2 過年度収益修正益	1,000	0.0

支出

款	項	目	予算額	構成比
事業支出			4,132,713	100.0
	1 医業費用		4,052,989	98.1
		1 給与費	2,869,590	69.4
		2 材料費	184,294	4.4
		3 経 費	759,754	18.4
		4 減価償却費	221,242	5.4
		5 資産減耗費	2,510	0.1
		6 研究研修費	15,599	0.4
	2 医業外費用		72,724	1.8
		1 支払利息	39,748	1.0
		2 雑費用	31,376	0.8
		3 消費税	1,600	0.0
	3 特別損失		6,000	0.1
		1 固定資産売却損	0	0.0
		2 過年度損益修正損	6,000	0.1
		3 その他特別損失	0	0.1
	4 予備費		1,000	0.0

2 資本的収入及び支出

収入

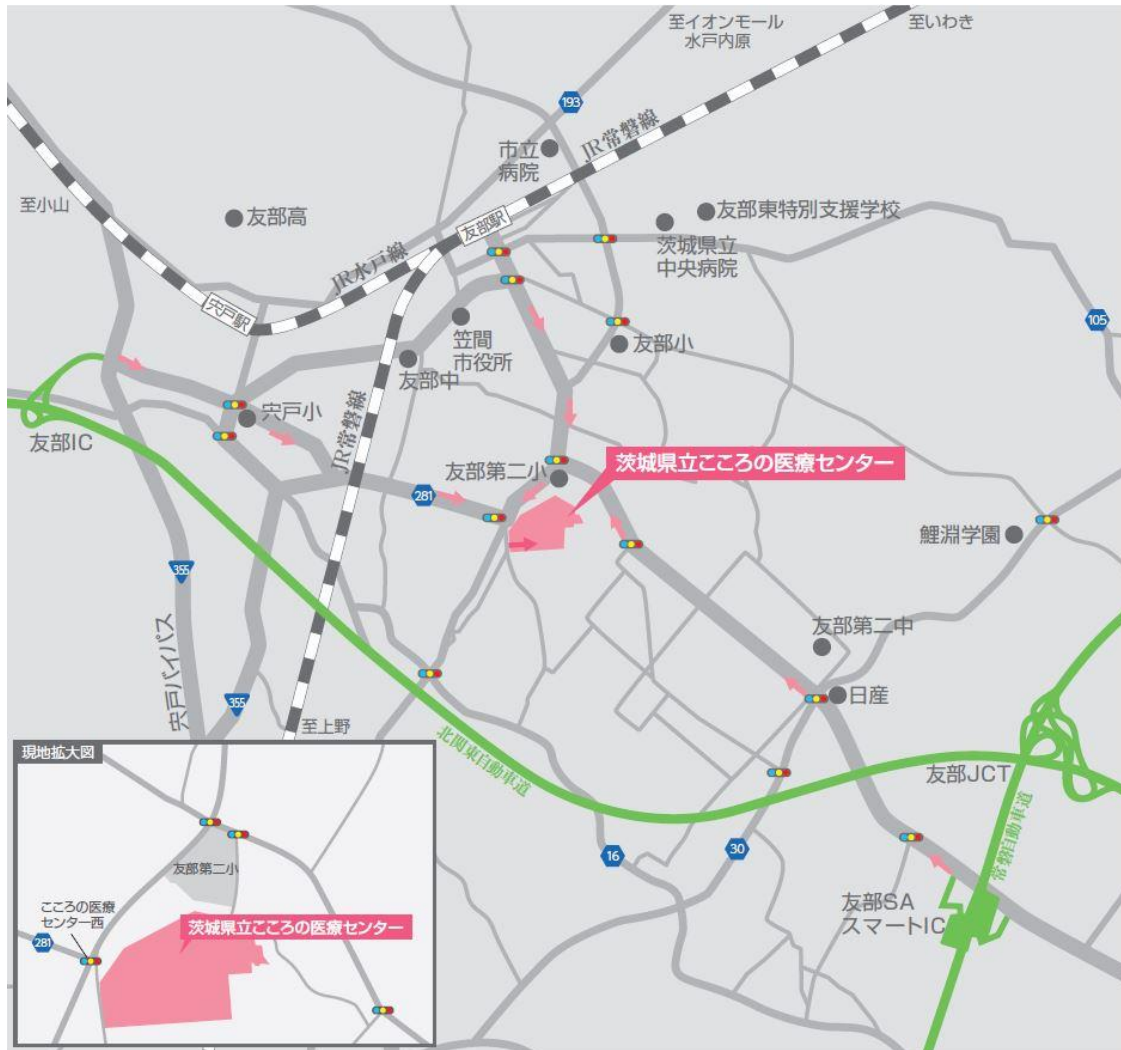
(単位：千円，％)

款	項	目	予算額	構成比
資本的収入			198,538	100.0
	1 企業債		95,600	48.2
		1 企業債	95,600	48.2
	2 負担金		102,938	51.8
		1 負担金	102,938	51.8
	3 補助金		0	0.0
		1 国庫補助金	0	0.0

支出

款	項	目	予算額	構成比
資本的支出			308,538	100.0
	1 建設改良費		102,483	33.2
		1 建設改良工事	51,819	16.8
		2 資産購入費	43,818	14.2
		3 リース資産購入費	6,846	2.2
	2 償還金		205,875	66.8
		1 企業債還金	205,875	66.8
	3 投資		180	0.0
		1 その他投資	180	0.0

Access Map



交通のご案内

- ◎JR友部駅からバス(茨城交通)をご利用の場合
- ・「こころの医療センター・モノタロウ前行き」に乗り、「こころの医療センター」下車
 - ・「水戸駅行き」「循環」に乗り、「友部第二小学校前」下車、徒歩8分
- ◎自動車をご利用の場合
- ・JR友部駅から約7分
 - ・常磐自動車道水戸ICから約20分
 - ・常磐自動車道岩間ICから約20分
 - ・常磐自動車道友部S&スマートIC(ETC専用)から約15分
 - ・北関東自動車道友部ICから約10分



予約申込

当院の外来診療は予約制です。

■外来初診予約センター
TEL.0296-77-1359
■予約の変更・キャンセル
TEL.0296-77-1159

■児童・思春期予約センター
TEL.0296-77-1624
■予約の変更・キャンセル
TEL.0296-77-1151

月曜日から金曜日まで
(祝祭日・12月29日から1月3日までを除く。)



茨城県立こころの医療センター

〒309-1717 茨城県笠間市旭町 654
電話：0296-77-1151(代表)
(URL) <https://www.mc-kokoro.pref.ibaraki.jp/>